



57年度民舞研究発表大会開催

新設の婦人部も参加して

千葉県商工会婦人部連合会

県婦連だより

発行所
 千葉県港4番2号
 千葉県中小企業会館4階
 千葉県商工会連合会内
 千葉県商工会婦人部連合会
 電話 0472 (42) 3361

大会風景 浦安市大槻事務局長提供

去る二月二十三日、千葉県厚生年金休暇センターにおいて恒例の第七回民謡舞踊研究発表大会が盛大に開催された。

大会は、県商政観光課野村主任、石井県連副会長、火災共済協同組合高木事務局長、婦人部OB林初江氏を来賓に迎えて、県下十八部一二八名が参加して開かれた。

今回は、新設の婦人部の参加もあって例年になく活気に満ちた大会となり成功裡に閉幕した。

紙上講習会

埋もれがちな婦人の力を掘り起そう

講師 中央大学教授 佐藤智雄

東京の渋谷に、「しぶや泉の会相談室」という二十人ほどの主婦が手弁当でやっているボランティア活動がある。去年五月の開設から、さまざまな相談に応じてきたという。

から七十代まで。「力の弱いわたしたちですけど、孤独な一人ひとりが少しでも触れあう場になれば」と努力をつづけているというのである。

商工会法の改正でいわれている「社会一般の福祉の増進に資すること」を実践しているような話である。この主婦たちが商工業関係の奥さん方か、勤め人の奥さん方か書いてなかったが、月一回、近所の人も交えて寝たきり老人のおむつを縫ったり、施設の訪問もしているという。私が一昨年の全



国連主催の「婦人部指導者研修大会」で、全国各地の婦人部の代表者の方々から「体験発表」でうかがったご努力の話とよく似ていると思って、この記事を読んだのであった。

むろん、お店や工場をもつ奥さん方が、毎日店をあけて、ボランティア活動にだけ精を出してはおれない。それは当然のこと、これはこの新聞記事どおりのことを実行していただきたいなどと言おうとしているのではない。

を輝かせながら、世間話をしにくるお婦人や、学校帰りの小学生にも対応しているという。この主婦たちの中心になる人びとは三十代

ボランティア活動については、みなさんの多忙のお仕事のあいま

をぬって、無理のないように計画し、交替でも、実行していただければ、それはそれで法改正の趣旨に添うと思う。

いま私が、この新聞記事を紹介したのは、こういう仕事は、絶対男にはできないという点である。かりに親会の役員や会員の方々が「相談室」をつくって詰めていても、切実な相談をもちこむ者は、まずいまい。「相談室」はすぐ雑談室になり、政治談議をたたかわせ、釣りやゴルフの話に花が咲き、そのうち碁・将棋がもちこまれ、「孤独な一人ひとり」の相談にのってやるより、仲間うちの雑談でムンムンした熱気をおびてくることだろう。

とても、孤独な老人や登校拒否児の寄りつける雰囲気では、ないかもしれない。

その「相談室」が、さきの記事のように、社会的な弱者の力になってやれるのは、そして身内になえぬことを相談する気になれるのは、婦人のもつ底知れない大きな力のせいだと、私は思っている。男性には男性の持ち分があるように、こういう世界は、婦人でなくてはならない。

だが、この底知れない大きな力をどの婦人も發揮しているかとい

うと、必ずしも、そうとはいえない。いや、まだ私は、ボランティアの「相談室」の話を続けているのではない。たとえばお店や工場の従業員にたいしても、買いにくる顧客はもとより、町内の人びとにたいしても、さらに地域社会のなかでも、である。

男性にできない婦人だけがもつ能力、特性を、日ごろ誰でも發揮しているとはいえないのである。しかし、どの奥さんも、お嬢さんも、女子従業員も持っていないというのではない。持ちながら埋もれている。潜在化している。發揮できる可能性が姿をかくしているのである。

それを掘り起して發揮させ、活用したら、どんなに世の中が明るくなるだろう。商工会への信頼が増し、顧客の愛顧が高まろう。

では、その埋もれている婦人の力とは何か。それを私はこう考えといる。第一に、広くて柔らかな愛情、第二に、細かい心配り、第三に、公平な扱い。この三つほどの婦人も必ずもっている大きな力だ。それでいて大多数の人はこの力を日ごろ出さきっていない。

まず第一の広くて柔かな愛情だが、広くというのは誰にたいしてもということ。柔かな愛情とは堅

い愛情の反対。堅い愛情とは恋人や夫婦の間の愛情。親子の愛情も同じである。だから柔かい愛情とは誰にたいしてもささげられる思いやり。他人の苦を自分の苦として感じ、また自分の喜びを他人にも感じさせられる愛情である。こういう愛情はやさしさから生れる。

第二の細かな心配りとは、周囲にいる他人のために気をつかい、自分にできることをしてあげようという努力である。これも男には不得手な点だ。相手の側にたつて細かなところまで見てやるなどというところが、まず大部分の男性には不向きだろう。目配りができない。しかし従業員にたいしても、顧客にたいしても、取引き先にたいしても、町内の人たちにたいしても、この店の奥さんにこの細かな心配りがあるかどうかで、店も繁昌し、人もなつく。町内からの尊敬や信頼を受けることになる。

第三は公平な扱い。原則として母親はどの子にも平等に扱うものだ。そこがパンドと違うところ。多少の好き嫌いはあっても、顔に出さず、扱いが公平だから従業員が居着く。店主や社長が大声で一人の従業員を叱っても、かげで奥さんがその社員をなだめる。それは教育効果を狙った社長の方法的

な差別を、奥さんの公平な扱いで修復するということになるわけで、その修復がなければ、従業員は社や店を離るかもしれないのである。こういう大きな力を婦人はもっている。商工会婦人部のボランティア活動も、みなこの精神、この力から生じ、商工会婦人部は社会の信頼をえている。

だが、大切なことは、こういう婦人のもつ大きな力が、常日ごろ埋もれがちだということだ。埋めこむもの、潜在化させずに潜在化さすものは何だろう。それは小さな、閉ざされた幸福感「私だけが幸せならよい」とか、目をふさいだ孤立主義「この忙しいのに他人のことかまっていられない」とか、そういう狭い考え方、生き方だと言わねばならない。

こういう危険な孤立主義を排して、婦人だけがもつ底知れぬ力、活力を掘り起していただきたい。掘り起し、發揮する人びとの輪をひろげて、商売のうえだけだけでなく地域社会のうちに、できたら社会的な弱者のうえに、その力をそそいであげていただきたい。



特 集

続我が街の婦人部

商工会婦人部の魅力づくりのポ
イントはまさにその事業活動の運
営にあります。商工婦人がすすん
で事業に参加し互いに喜びあえる
ような事業活動を推進してほしい
ものです。

前回に引き続き活動事例を特集し
ました。今回は、四街道市、君津
市清和、我孫子市商工会婦人部に
登場願いました。



商工会市道四
部 人 婦 一
井 上 部 長

四街道市商工会婦人部は、町商
工会婦人部として昭和四十年代に
設置されました。当時の部員の多
くは、商工会、また駅前周辺の商
工主婦、女子従業員でした。その
ころの四街道町（現在は市です）
の商業地域はおもに駅周辺のみで
した。

現在は部員数六十二名内役員十
四名です。役員会は年六回、意見

の交換、各種事業の打合せ等。会
議終了後は懇親会で親睦を図って
おります。

総会の本人出席は、二十五名な
いし三十名ぐらいです。他は委任
状で成立とします。

毎年、新年一泊研修会には、講
師を招き、先進地視察、また車中
講演、宿泊地での懇親会を催して
います。

昨年十月には、青年部と合同で
文化講演会と題し、話し上手は聞
き上手、商売上手」というテーマ
の講演を開きました。

また市内の新商工地域、各団地
商店街、ショッピングセンター工
業団地、生産工場等を見て回りま
した。参加者二十七名です。

尚、四街道市は、駅前区画整理
に伴う再開発事業が急ピッチで進
行しています。

私達、婦人部は今後の課題とし
て部員の増強を図り、特に新しい
地域の商工主婦の入会を呼びかけ、
相互の交流、そして商工会の発展
と共に各自の商工事業経営者の良

き協力者として進みたいと思いま
す。



商工会市清和
部 人 婦 一
緒 形 部 長

私共の婦人部は、昭和四十二年
七月に発足致しました。今迄は開
店休業のような状態でありました。
折角結成されているので、部員相
互の親睦を深めましようとする務
局に相談して、当時はまだ二十数名
の部員も一昨年は六十数名にもな
り、役員も改選され部長一、副部
長一、委員八名と新たに発足しま
した。

役員会は、必要に応じて行いま
す。今までの主な活動は一、御宿
町商工会婦人部の方々との交流、
車内研修、中食会を実施。はじめ
ての事業で参加者は十五名でした
が、大満足。

二、調理実習、私共の部員はプロ
が大勢いますが農業改良普及所の
生活指導員の方を講師にお願いし
て出来ばえも上々、試食会を兼ね
みんなと話す会を企画、ひと足早
い忘年会となり、参加者二十数名
のお腹は満ぶく、話し合いも活発
で盛会でした。

三、お正月には、成田山初詣りと
講演会を開催し参加者二十五名で
会場は成田ビューホテル、空港を
眺めながらホテルの見学、中食会
と皆気分は最高。そして講演会、
テーマ「明るく人間関係をつくる
話術」。話術もすばらしくてさす
が研究所の先生。二時間アツとい
う間に過ぎ名ごりおしかつた。他
に勉強会として記帳及決算の仕方
の説明会等。

これからも研修会、講習会等に
より部員相互の親睦と、商工婦人
としての知識、教養を高めて地域
に貢献いたす所存でございます。

商工会市孫我
部 人 婦 一
千 浜 部 長

当婦人部は、三町村が合併して
我孫子市になった関係で、我孫子、
湖北、布佐の三支部から構成され
ており、部員数は、現在四二六名
と規模の面では県下でも大きなほ
うですが、事業活動に参加してく
れる部員は僅かで、大半は籍だけ
を置いているというのが現状です。
一、主な事業活動は、年一回六
月に総会を兼ねての先進地視察研
修。八月に市と商工会が共催して

開かれる手賀沼市民まつりへの参加。そして二月に今年度初めてのころみとして民謡民舞大会を開催しました。多くの部員の方々が踊りや唄を趣味としているため出演者が二〇〇名余りを数え、その他の役員の方々も裏方として一体となつて大会を開催できたのは、婦人部の組織強化の面からも有意義であつたと思います。

二、役員会は二ヶ月に一度ぐらいを予定していますが、何か行事のある時はその都度開催しています。

三、前述のように三支部から構成されていますので、支部ごとに、着付教室、ダンス教室、卓球教室等、部員の方々の興味の持てる行事を開催し、できるだけ多くの部員の方に参加していただき、その中で商工会婦人部を理解され、その他の行事にも積極的に参加していただければと思つています。

千葉県での開催内定

全国連と全婦連の主催による五十八年度東日本指導者研修会の開催当番県として千葉県が内定し、九月十二日から三日間、鴨川市において開催されることとなつた。

一都一道二十一県からの代表者が参加されます。各婦人部の参加とご協力をお願いします。



先輩よろしく!

新設婦人部紹介

光町・勝浦市・成田市商工会婦人部

五十六年度に四商工会五十七年度は十商工会と、連続婦人部が誕生しています。これから婦人部の設立を予定されている商工会、また此から活動を計画されている婦人部の参考になればと新設の三婦人部に登場していただきました。



会 工 商 会 一
部 婦 人 部 一
長 部 長
越 川 部 長

私共の婦人部は昭和五十七年二月二十日に結成されました。

私は、初代部長に選出され大役を命ぜられ部員の皆様にご期待にそえる事が出来るかと考えて、あわただしく一年が過ぎてしまいました。

行事としては、研修、親睦旅行

と数々開催いたしました。部員の皆様の多数のご参加を頂きまして、よき交流が出来ました。

これからは青年部と協力して、大きな歯車をつ一つかみ合せて、よき商工会を作つて行きたいと思ひます。

今年度の行事としては、研修、親睦旅行の他に健康で明るい笑顔で皆様に応待出来るように教養、栄養講座を開きたいと思ひます。又一般住民との交流もはかりたいと考えております。



会 工 商 会 一
部 婦 人 部 一
長 部 長
吉 野 部 長

私達勝浦の婦人部は、昨年三月二十三日に結成以来、やっと一年のお誕生日を迎えるところで、年代は、二十才台から六十才台まで幅広く、部員数は九六名です。

しかし合併された市ですので、どうしても、旧勝浦地区が中心となりがちですが、春のゴミゼロ運動、秋の青空市場、運動会と青年部と仲良く活動してまいりました。

また、五十九年度に出来ます国際武道大学設立と地区の対応についての懇談会を開いたり、アンケ

ート調査を行つております。また、二月初めには、川崎大師のお参りと、浅草の商店街視察の日帰り研修旅行を行ない、バス車中ではカラオケで皆さん日頃のノドを競い、部員の親睦を深め合いました。

三月には婦人部らしい講習会を予定しておりますが、何しろすべが始めての事なので一生懸命です。これから若い人達にも大いに活躍してもらいたいと願つております。



会 工 商 会 一
部 婦 人 部 一
長 部 長
木 下 部 長

昨年末の十二月十一日に商工会からお声がかかり婦人部を作つたことと。十二月二十二日に創立総会を開きたいとの事。余りに急なお話に如何なる事かと思ひましたが、皆さん一生懸命歩き廻り、僅か十日間で二百八十六名の大世帯となりました。私如き者を部長にと選出下さいましたが、商工会について全く認識不足の上、この会を纏めるだけで精一杯。胃の痛み出す様な思いでございました。

しかし副部長さん、常任委員さん、又地区委員の方々の並々ならぬ御協力で僅か一ヶ月の間に何と格好がついて参りました。成田は御承知の様に、成田山を中心の商工観光業者、空港関連業者、それにニュータウンの様な住宅に密着した商業者、地場産業関連業者と、大別され非常に纏めにくい形態を有しております。その様な中に幾つもの団体が生れ、又新しく商工会婦人部が誕生して、これを意義ある有能な団体にして行かね

頑張っています 念願の新聞発行 大原町商工会婦人部



私共商工婦人は、商売に、主婦業に、一家の中心(?)となつて毎日忙しく外に出る機会にも恵まれません。そこで事業ごとに専門委員を選任しその方々にお願

ばならない難しさを感じております。

そこで初年度は、僅か三ヶ月の期間ですので、「ふれあいの婦人部」をキャッチフレーズに会員相互知り合う事を第一的と致しました。

来年度は、他地区の婦人部を研修させて頂き、先輩の皆様御指導のもとに、一生懸命勉強して参りたいと思ひます。

ております。

私達婦人部の念願でありました新聞の発行をその方面のベテランの近藤香代子、鶴岡春乃さん、ご両人を広報委員に選任し、両氏を中心に全員が協力して、新聞名を「潮さい」として創刊号を九月に第二号を十二月に発刊しました。費用は、百部で二万四千八百円、下の欄を広告欄として一戸あたり五百円、広告代は当婦人部の収入となります。この私共婦人部の誇る新聞は、全員にもれなく配布され一人でも「多くの方々に読んでいただき、部員相互の親睦、お知らせに、また皆さんの活躍ぶりをこの新聞をとおして知っていただきたいと思つております。

東日本地区婦人部指導者

研修会に参加して

県婦連会長 勝 股 歌 子

五十七年度東日本地区指導者研修大会が、全国商工会連合会及び全国商工会婦人部連合会の主催で九月一日から三日間、北海道札幌市で開催され県婦連より村田・勝股が参加しました。

一日目は、事例発表で札幌・仙台・東京・名古屋各通商産業局管内より発表がありました。まず札幌代表として増毛町婦人部長からふる里づくりと婦人部活動について発表され、半農半漁の増毛町では四十六年商工会長さんからの勧めで、りんご祭を実施したところ、大変人気を呼び、回を重ねる度に盛んになり、翌年からは農産物だけでなく、海産物も取り入れるという事で町特産の海老を中心にして更に五十二年からは、恒例の行事として発展している。今後もある里づくりに貢献して行く旨発表された。仙台代表として青森県婦連会長から浪岡町婦人部では、青年部や子供達と一緒に「ねぶた」を作ったり又旧盆には揃の浴衣で参加し、津軽盆踊、南部駒おい踊、

婦人部音頭などで協力をしている。阿部さんご自身婦人部の会員に加したお蔭で、家庭内の悩みごと、娘さんの結婚などでお世話になり、感謝しているなどの発表があった。東京代表として埼玉県婦連会長より広報活動につき発表があり、県婦連結成十三年目から婦人部だよりを発行し、内容は社会報道、講習会、事業報告、各地区事例発表、婦人部の交流、青年部合同研修、体育、俳句、短歌などで、原稿は、県内四ブロックに割り当てることにし、発行当初は原稿集めに苦労したけれど、今では部員の意識も高上し逆に掲載するのに苦労しているとの発表があった。名古屋代表として三重県婦連会長からは、「地域社会との新たな連帯を求めて」ということで、伝統ある史蹟文化を大切に地域社会の自然と風土を最大限に活用し地域振興を進めることが地方の為に相応しいとし、更に美化運動として石山観音の植樹や清掃で自然環境作りに取り組んでいるという

事例紹介があり、各県からいずれも活発な発表がありました。

二日目は、分散会で「地域の発展と福祉活動」のテーマで二班に分かれて討議され、まとめを中央学院大学桐木教授が担当され、福祉ということは、上から与えられたものでなく、自分達から進んで行うものであり、此からの福祉は国家でなく地方社会、商工会、親族の助け等によつて行わなければならないし又、近隣社会等が自発心を起すことが本当の福祉ではなからうかとまとめられた。

三日目は、移動研修として市内商店街等を視察した。以上のとおり三日間にわたる研修の模様をご報告いたします。

鋸南町坂本部長ら表彰

十一月二十五日東京渋谷NHKホールで商工会全国大会が開催され、経営改善普及事業に関する功労者等の表彰が行われた。(本会関係者は次のとおり)

- 一、中小企業庁長官表彰
我孫子市商工会婦人部
鋸南町商工会婦人部長坂本圭子
- 二、全国商工会連合会会長表彰
鎌ヶ谷市商工会婦人部
御宿町商工会婦人部長村田八重子

婦人部組織率53%に

十商工会に婦人部誕生

県連と県婦連では、県内完全結成を目標に婦人部設置運動を展開してまいりました。その結果左記の十商工会に婦人部が結成され、早くも活発に活動されていることは頼もしい限りです。(カッコ内は部長)

- 鴨川市鴨川商工会 高山京子
- 野栄町商工会 林紀代子
- 習志野市商工会 稲垣渥子
- 夷隅町商工会 実方和田子
- 睦沢村商工会 小畑美智子
- 鴨川市長狭商工会 高梨稔子
- 浦安市商工会 六沢 操
- 蓮沼村商工会 浪川 良
- 岬町商工会 米本精子
- 成田市商工会 木下きみ江

富沢美津江さんが逝去

下総町商工会婦人部長



下総町商

工会婦人部
長の富沢美
津江さんは、
一月十三日
入院先の仁

戸名町ガンセンターで逝去されました。享年五十四歳。

富沢さんは、昨年四月に下総町商工会婦人部長に就任し、持前の温厚な人柄と強い責任感で、常に婦人部の行事推進役をつとめ、入院後も婦人部の運営につき心配されておりました。部長は、下総町に生まれ、戦後初めての婦人警官として五年勤務され結婚で退職。家庭では、一男一女の母としてまたアクセサリー店経営のかたわら、民謡、手芸と趣味も広く今後の活躍が期待されていただけに、その逝去は惜まれます。葬儀には本会より勝股会長が参列されました。ここに生前の功績を称えらるるともにご冥福をお祈りいたします。

短歌

俳句

祈り 旭市堤 恵子

◎夕さがたの岩をおほへる満ち
潮は黒ぐろ重なり泡立ちあひぬ

◎寒の水に活けし蠟梅めげず咲く
立春の日を黄に透けながら

◎秋の山に耀ふ紅葉楓は
日だまりならむかわが身もあかるみ

◎あらはにぞ千年杉の岩根捲き
乾く細枝にみくじ結ばるる

編集後記

県婦連だより第二号を、お届けいたします。中学生の校内暴力が社会問題となつております。私共商工婦人にとつても無関心ではおられません。今回は、紙上講習会新設婦人部紹介、事例研修コーナーを企画しました。御意見をお寄せください。九月には東日本指導者研修会が予定されております。皆様のご協力をお願いいたします。

編集委員長 勝股 歌子

委員坂本圭子 海老原綾子
井上すみ子 京増 さく
石野もと子 荒井 ふさ
石井 宗子 田中 敏
相川せき子 喜多見邦子
緒形登美子 飯島 喜代
村田八重子

酒々井町 高橋 紀美
◎新年会場の片隅にゐるり端
◎カルタ取り 耳馴れた声
馴れぬ声

酒々井町 京増 さく
◎みぞれ菊 白猫ゆつたり
去つて行く
◎赤トীগーラシ 枯木に二つしが
みついでる
富里村 相川せき子
◎掃除して 客待つ三寒四温かな
◎損得のつかれ 冬の叩き売り